

5月20日(月)

魂を高く保つ

聖書朗読 IIコリント 4:7~18

人は、たとえ全世界を得ても、いのちを損じたら、何の得がありません。

マルコ 8:36

著名なフランスの小説家ギュスターヴ・フローベルは、以前、ある女性から手紙を受け取りました。その手紙には、彼女に多くの賛辞をもたらした記述の1つが書かれてあり、彼女はその言葉に有頂天になっていました。ギュスターヴ・フローベルは、そのような有頂天に対して彼女に注意を与えました。私は、彼が彼女に宛てた返信のこの一部が好きです。「この世で最も重要なことは、魂を高く保つことです」。

クリスチャンの信仰に関連づけて言うならば、高められた魂を保つことは、確かに最も重要なことです。何を食べようか、何を飲もうか、何を着ようかと心配することによって、すべてを形悪くねじってしまわないように、イエス様は何度も私たちに思い起こさせてくださっています。『空の鳥を見なさい。』、『野のゆりがどうして育つのか、よくわきまなさい。』(マタイ6:26, 28)とイエス様はおっしゃいます。魂に対する侵入を目撃しましょう！ それらの大半は、偶像礼拝、権力、流行、名声、プライドなどの形をとります。

「内なる人」が継続するものすべてであるにもかかわらず、私たちは二次的なものの侵入を認めてしまうことがあります。昔からよく「目に見えるものだけが現実だが、目に見えないものには本質がある」と言います。魂は、体やこの世的なことに関係するいかなるものよりも、はるかに重要なことなのです。

讃美歌 488

祈り 親愛なる神様、私たちの魂を高く保つことを、私たちに絶えず思い起こさせてください。そして、常に私たちの目からこの世的なチリを取り除いてください。

キリストの素晴らしい御名において。アーメン。

ロバート・W・ローレンス
ネブラスカ州 ヨーク

今日の力

2013年5月20日～5月26日

翻訳 村越克子

編集 岩田欣三

この冊子の聖句は、新改訳聖書第三版を使用しています。

御茶の水キリストの教会

5月21日(火)

私のうちのキリスト

聖書朗読 ガラテヤ 2:17~21

しかし私は、神に生きるために、律法によって律法に死にました。私はキリストとともに十字架につけられました。もはや私が生きているのではなく、キリストが私のうちに生きておられるのです。 ガラテヤ 2:19~20

知識と教育の迫及に集中した世代の中で、私はキリストを知りました。それは、大きな目標を掲げ、その目標を目指して惜しまず努力するならば、いかなることもできると信じることの一部でした。ですから、神様の御恵みは、私の目標よりも大きくて、神様の御目にとっては、私が懸命に努力することは、自分をそれ以上のものにするにはならないとわかったとき、大きな安堵感が与えられました。そして、私のうちのキリストのことをもっとよく知ることは、私の生活環境を絶えずキリストにお任せし、私のうちにおいて、また私を通して、みこころが働くようにすることを教えてくれました。

孫たちも、同じように、このことがわかるように、私が助けてあげられるという希望が、私にはあります。孫たちは、私がそうであったように、彼らのときに合わせて、このことを知るべきですが、おそらく私が言ったことや、したこと何かが、彼らが私のうちのキリストを見たり、キリストのご支配を知る助けになるのだと思います。

グローブは、そこに入る手なしには役に立ちません。私の人生は、神様の霊に満たされ、みこころによって力を与えられたときに、初めて役に立つのです。

讃美歌 313

祈り 主よ。私の孫たちと、そして今日の世界中の子どもたちへのとりなしの祈りを持って、あなたのもとに参ります。彼らがあなたのことを、そして、この世に真に勝るあなたの御力、強さ、そして愛を知るようになることをお祈りします。

イエス様の御名において。アーメン。

バーバラ・ギブソン
テキサス州 ゲインズビル

5月22日(水)

貴い果実を分け合う

聖書朗読 ガラテヤ 5:13~26

わたしはぶどうの木で、あなたがたは枝です。人がわたしにとどまり、わたしもその人の中にとどまっているならば、そういう人は多くの実を結びます。わたしを離れては、あなたがたは何もすることができないからです。 ヨハネ 15:5

聖餐式において、ぶどうの実が配されている間、プロジェクターのスクリーン上にぶどうの木で育つぶどうの実が映し出されていました。その間、私は裏庭の畑から果実を収穫するときの幸せな気持ちについて考えました。果実を立派に育て上げたことに多少の誇りを感じながら、友人や家族に気前よくふるまうとき、どんなに楽しいかと思いました。

去年は、りんごの大半を害虫にやられてしまったので、ほんのわずかな収穫しかありませんでしたが、今年は、夫が花が咲く時期に殺虫剤をまきました。ですから、今年は私たちのリンゴとぶどうの木は、これまででない豊作の年でした。

豊作の可能性は常にあるのですが、果実をダメにする害虫を駆除する必要がありますがありました。私たちは神様から豊かにいただく可能性がありますが、自己中心な思いや敵意といった多くの小さな害虫が、私たちの豊作を減少させてしまいます。キリストの光と聖さは、私たちがキリストの食物をいただけるようにしていただき、そして、友人や家族と分かち合うことのできる御霊という果実を実らせてくださるのです。

讃美歌 500

祈り 親愛なる主よ。人々があなたの愛を見て、あなたを愛するようになるよう、聖霊を通して実り多くなりますよう助けてください。

イエス様の御名において。アーメン。

トレリーズ・M・ヘンリー
カリフォルニア州 サンタローサ

5月23日(木)

平安という贈り物

聖書朗読 ピリピ 4:1~9

わたしは、あなたがたに平安を残します。わたしは、あなたがたにわたしの平安を与えます。わたしがあなたがたに与えるのは、世が与えるのとは違います。あなたがたは心を騒がしてはなりません。恐れてはなりません。

ヨハネ 14:27

助け主を通して神様が私たちに与えてくださる多くの贈り物の一つが、平安です。イエス様は、バプテスマののちに私たちが聖霊を授かったとき、平安という贈り物が与えられることを使徒たちや弟子たち、そして私たちに約束してくださいました(ヨハネ14:25)。そして、このバラバラで、ときとして絶望的な時代においては、私たちは日々の生活の一部として平安が必要です。

神様が与えてくださる平安は、私たちの生活に入ってくるストレスに対する懸念を軽減してくれます。そして、私たちが忍耐強くあることを助けてくれます。平安とともにあれば、自分が思うこととは反対の苦痛に満ちた状況にあっても、私たちは神様にお仕えし、神様が私たちのために立ててくださったご計画を待つことを学びます。

神様の平安とともにあれば、私たちはもっと寛容になります。私たちは、神様が私たちのことを愛してくださり、そして、ときには神様の愛は、人生における逆境を私たちの益となるように用いてくださることを知っています。クリスチャンは神の国にお仕えする者なのです(ヘブル12:5~11)。

神様の平安とともにあれば、私たちには喜びがあり、期待を持って待つことができます。私たち自身の悩みを、神様の御恵みと信仰をもってお持ちします。そして、感謝しながら、期待をもって待ちます。なぜならば、イエス・キリストによる神様の平安が、神様とともにある永遠の我が家への旅路、ときにはそれが岩の道であっても、あらゆる障害を乗り越え、最終的には私たちを守ってくださるからです。

讃美歌 295

祈り お父様、あなたの平安という贈り物を感謝します。あなたの平安が私の心と思いを満たし、あなたに守られていることを感じるすることができますように。このお祈りを、私たちの救い主、イエス様を通して、感謝と賛美をもっておささげいたします。アーメン。

アイサー・ロバート
フロリダ州 チーフランド

5月24日(金)

心に留めることの御恵み

聖書朗読 ピリピ 4:8~23

最後に、兄弟たち。すべての真実なこと、すべての誉れあること、すべての正しいこと、すべての清いこと、すべての愛すべきこと、すべての評判の良いこと、そのほか徳と言われること、称賛に値することがあるならば、そのようなことに心を留めなさい。 ピリピ 4:8

神様は、素晴らしい記憶力をもって、私たちを祝福してくださいます。最近の出来事をつい忘れてしまうのは珍しいことではありませんが、年月を経た記憶は、ときには人生の最後まで強く残っているものです。

それが、神様が絶えずイスラエルの子どもたちに安息日を覚えるようにお話しになり、出エジプト、過ぎ越しの祭、神様が人をご自身のかたちに創造されたこと、イエス様の再臨のときまで主を覚えるように主の食卓を私たちに与えてくださったことを覚えるようにと、神様がお話しになられる理由です。

その他の多くの記憶を私が慎重に思い起こすなら、それは私のクリスチャン人生の助けとなります。私は教会がどのように私を祝福してくださるかを覚えます。家族が亡くなったときに示してくれた思いやりや、病気のときに訪ねてきてくれて、食べ物やお見舞いのカードをくれたこと。私や子どもたち、孫たちがバプテスマを授かったときに祝福してくれたこと。落ち込んだときに相談にのってくれたこと。子どもが産まれたり、結婚したときにお祝いしてくれ、たくさんの贈り物や祝福の言葉をくれたこと。私たちが良いことを心に留めるなら、それは、私の信仰を強め、同じようにあなたの信仰も強めてくれます。

過ぎ去る時間の周りには、フェンスも垣根もありません。あなたが十分にそれを覚えていけば、戻っていき、その中からあなたの好きなものを持つことができるのです。

—— リチャード・ルウェリン (「我が谷は緑なりき」より)

讃美歌 537

祈り 親愛なる主よ。私たちだけではなく、あなたの創造物すべてを愛していただき、感謝いたします。あなたを間近に仰ぎ見る日を待ち望みます。イエス様の御名において。アーメン。

ウィリアム・E・マックドナート
オレゴン州 フィロマス

5月25日(土)

時間の外側で

聖書朗読 コロサイ 1:9~17

しかし定めの時が来たので、神はご自分の御子を遣わし、この方を、女から生まれた者、また律法の下にある者となさいました。 ガラテヤ 4:4

「起きる時間」「出かける時間」「とにかく何時?」・・・というように、私たちは時間を壁に掛け、テーブルの上に置き、腕にはめます。神様は、私たちが時間や季節を数えるために星、月、太陽を用いさせようとなさったと、創世記には書いてあります。神様は、時間についてのすべてを計画されていらっしゃいました。

神様は、私たちに今日、昨日、そして明日という希望を与えてくださいます。私たちにはそのどれもコントロールしていません。ヤコブ4:15には『主のみこころなら、私たちは生きていて、このことを、または、あのことをしよう。』と、私たちが言うべきだと書いてあります。今日の聖句は「万物が御子にあって成り立っている」ことを明言しています。

イエス様は、人間になられるとき、ご自身が時間というものに拘束されることをお許しになられました。しかし、今は、私たちのために成立させている時間の外にいらっしゃいます。イエス様においてこそ、私たちの過去、現在があり、イエス様こそが私たちの未来であり、イエス様は、その未来で物事がどのように起こって進むかをご存知でいらっしゃいます。『私の時は、御手の中にあります』(詩篇31:15)を覚えることは、なんとという慰めでしょう。私たちは、神様の御手の中にある未来を見つめながら、時間の中にいます。

時計を見るとときには、時計が刻むチクタクいうその一刻、一刻に、神様があなたのためにすべてを成り立たせてくださっていることを覚えましょう。

讃美歌 312

祈り ああ、造り主。日々の生活における時間というプレッシャーから解放され、すべてのことがあなたから成り、あなたがすべてを成り立たせていることを覚えることができますように助けてください。主よ。あなたこそが唯一の神です。

救い主の御名を通して。アーメン。

コニー・エドワーズ
オクラホマ州 クレクウア

5月26日(日)

日々の励まし

聖書朗読 ヘブル 3:12~15

「きょう」と言われている間に、日々互いに励まし合って、だれも罪に惑わされてかたくなにならないようにしなさい。 ヘブル 3:13

良いダイエットとは、骨や皮膚、その他必須器官の健康を維持するための栄養を摂取するものです。それにはカロリー、ビタミン、たんぱく質、脂肪の摂取量について、毎日の推奨値があります。これらの栄養素のいくつかを長期間なして済ますと、私たちの体は弱り、病気やストレスに対する耐性が落ちます。

私たちは、自分自身を日々大切に養う必要があるのです。

同じように、私たちの魂も毎日のお手入れを必要としています。ヘブル人への手紙の著者は、信者の中で励まし合うことがいかに重要かを語っています。それなしでは、私たちの信仰や神様にお仕えする決意が弱まってしまいます。自分が作ったかたくなさの罠にかかり、そのかたくなさは容易には緩まりません。日々の励まし合いは、私たちを霊的に健やかに、また強く保ってくれます。

私たち皆が励ましを受けるようにする一方で、今まさに落ち込んでいる人のことを考えましょう。今、彼らのために祈りましょう。励ましの言葉を書いたカードを送りましょう。

私たち皆が、日々の励まし合いを必要としているのです。

讃美歌 第二編26

祈り 親愛なる主よ。お互いに日々、心を配り合うことを思い起こさせてください、ありがとうございます。私が、日々の励ましの送り手にもなり、受け手にもなりますように。

イエス様の御名において。アーメン。

ロバート・P・マレン
テキサス州 フォートワース